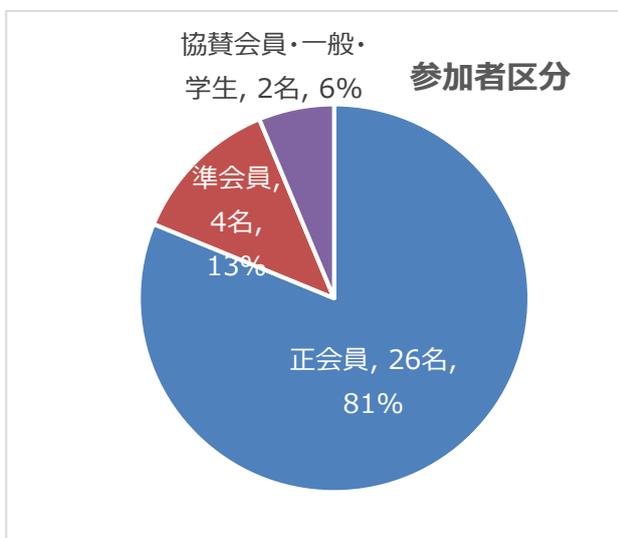
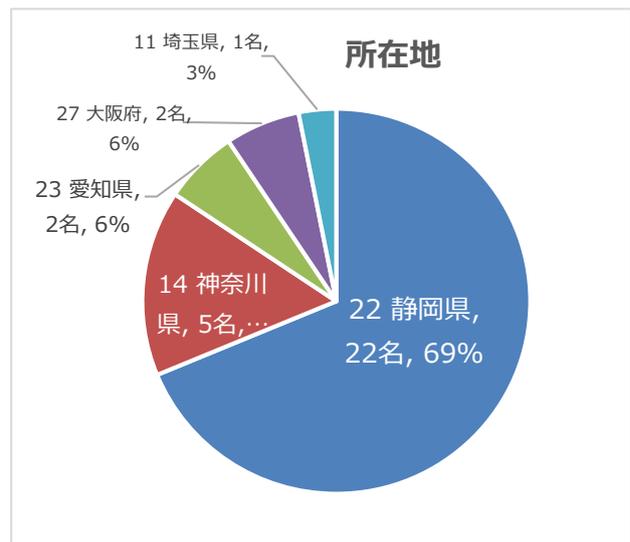
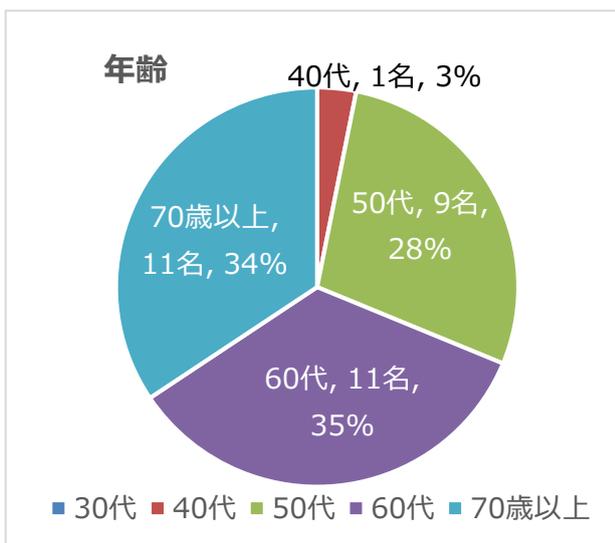


2023年度 第2回講演会 参加者アンケート集計結果

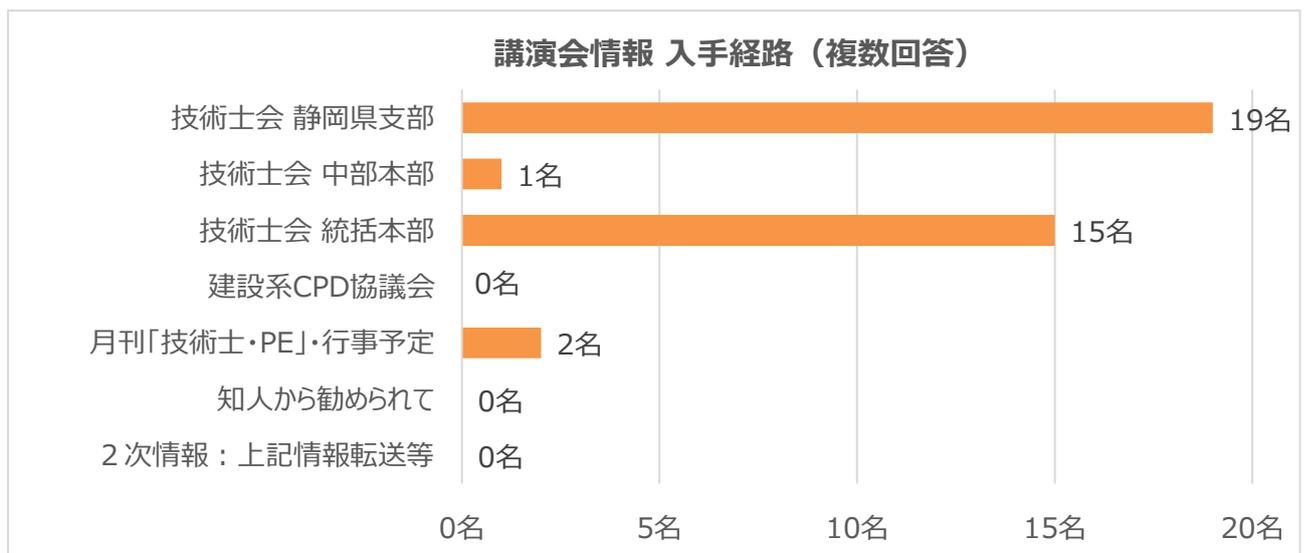
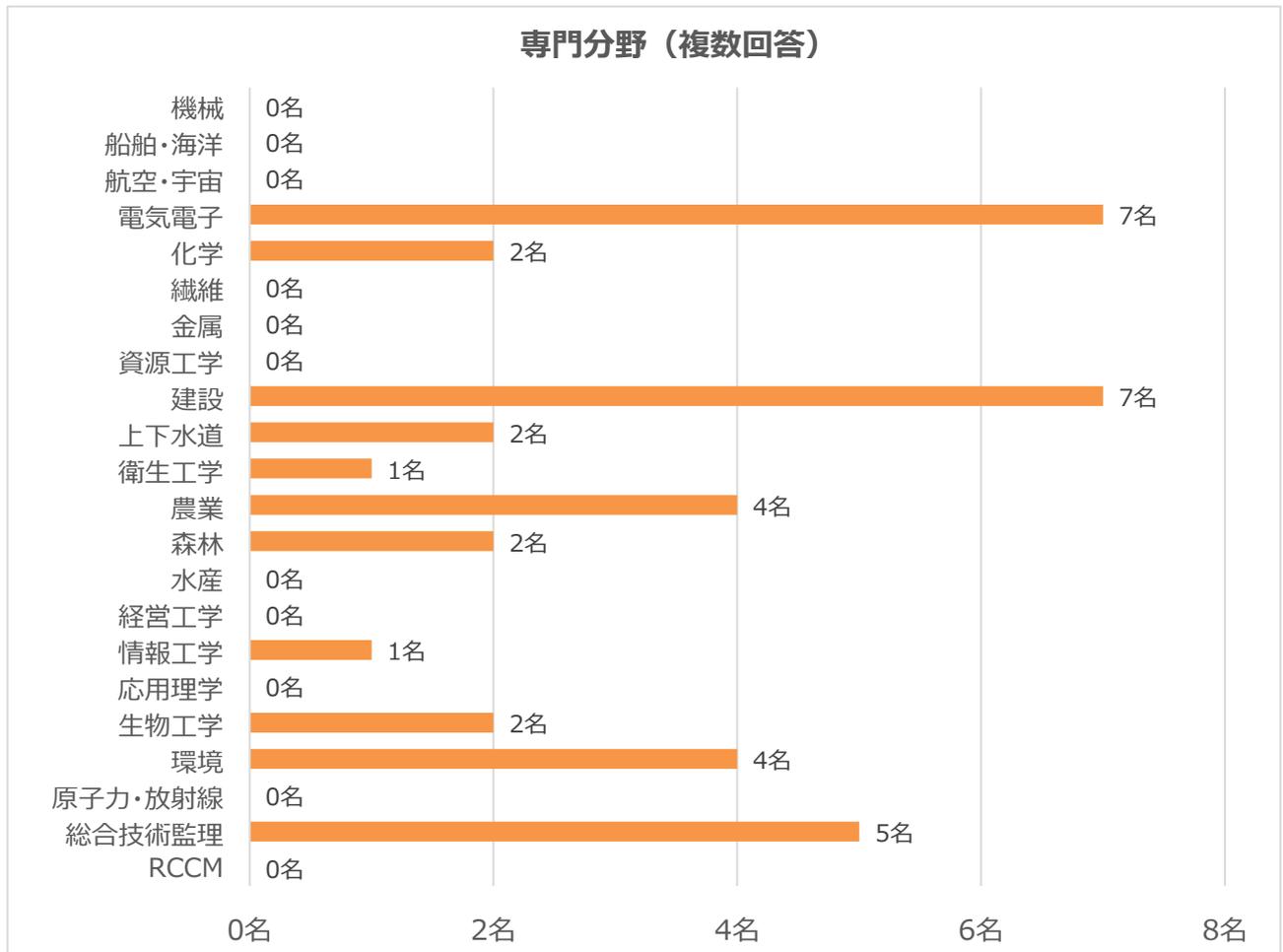
アンケート集計条件 (講演会実施日：2023年8月19日)

アンケート回収方法：	Google フォームを活用した Web 経由による回収
アンケート回収期間：	2023年8月20日から9月2日(14日間)
アンケート回収件数：	32名(重複回答を除く)
アンケート回収率：	76%(講演会参加者42名)

講演会 参加者情報

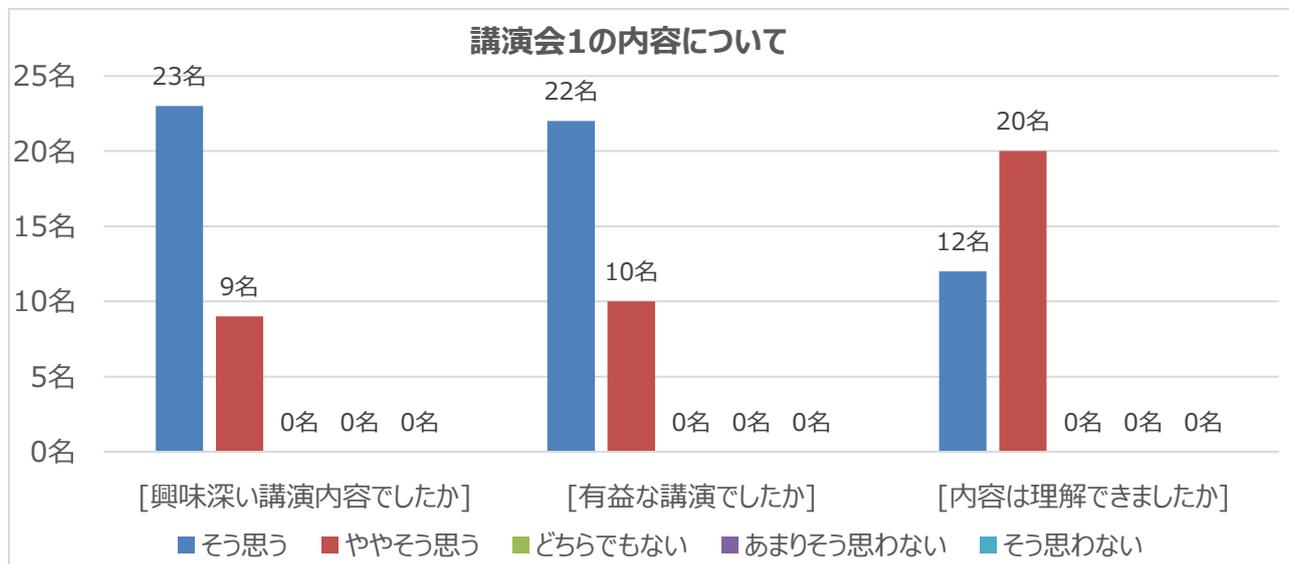


講演会 参加者情報

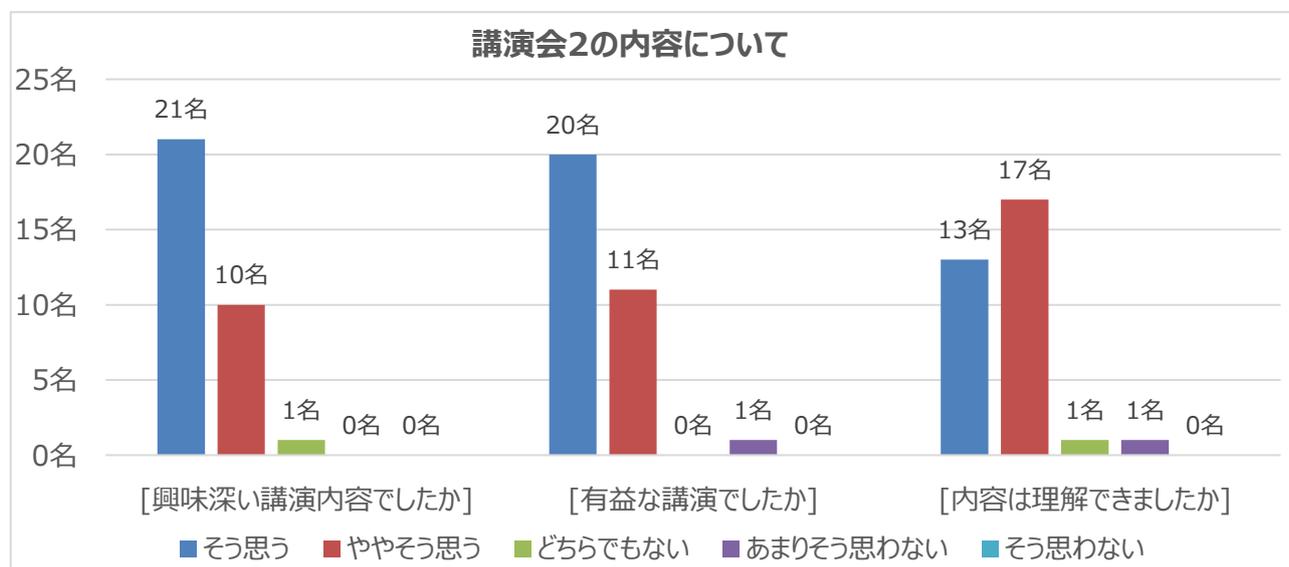


講演会の内容について（参加者のコメントは別紙①参照）

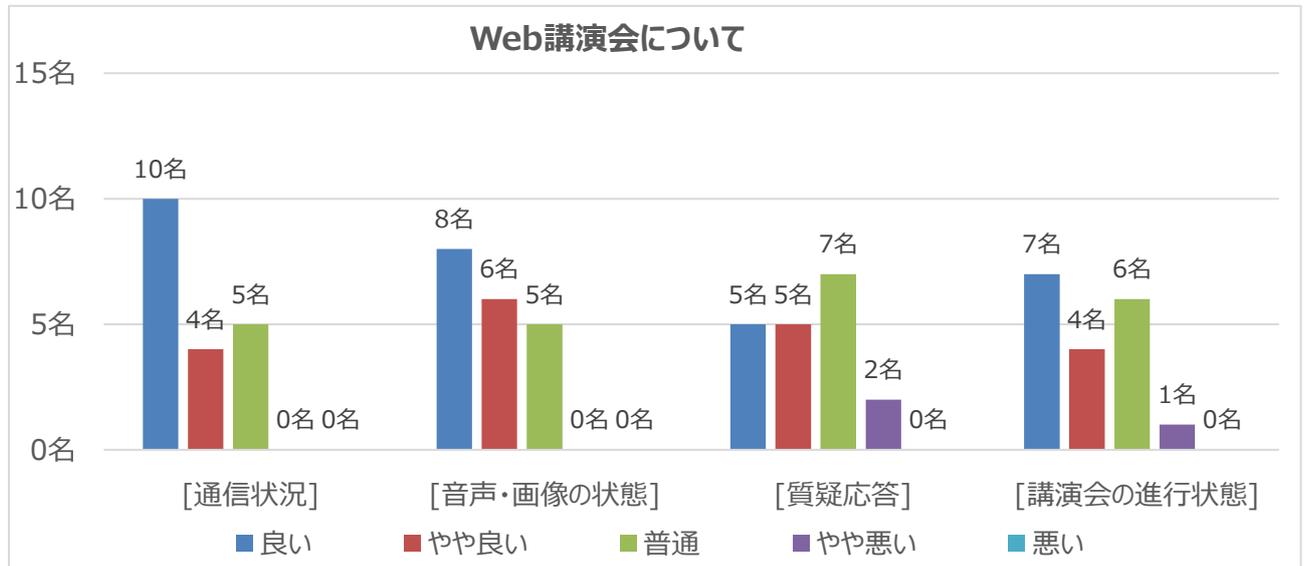
講演 1 「大学の紹介と環境に優しい農業害虫防除法」



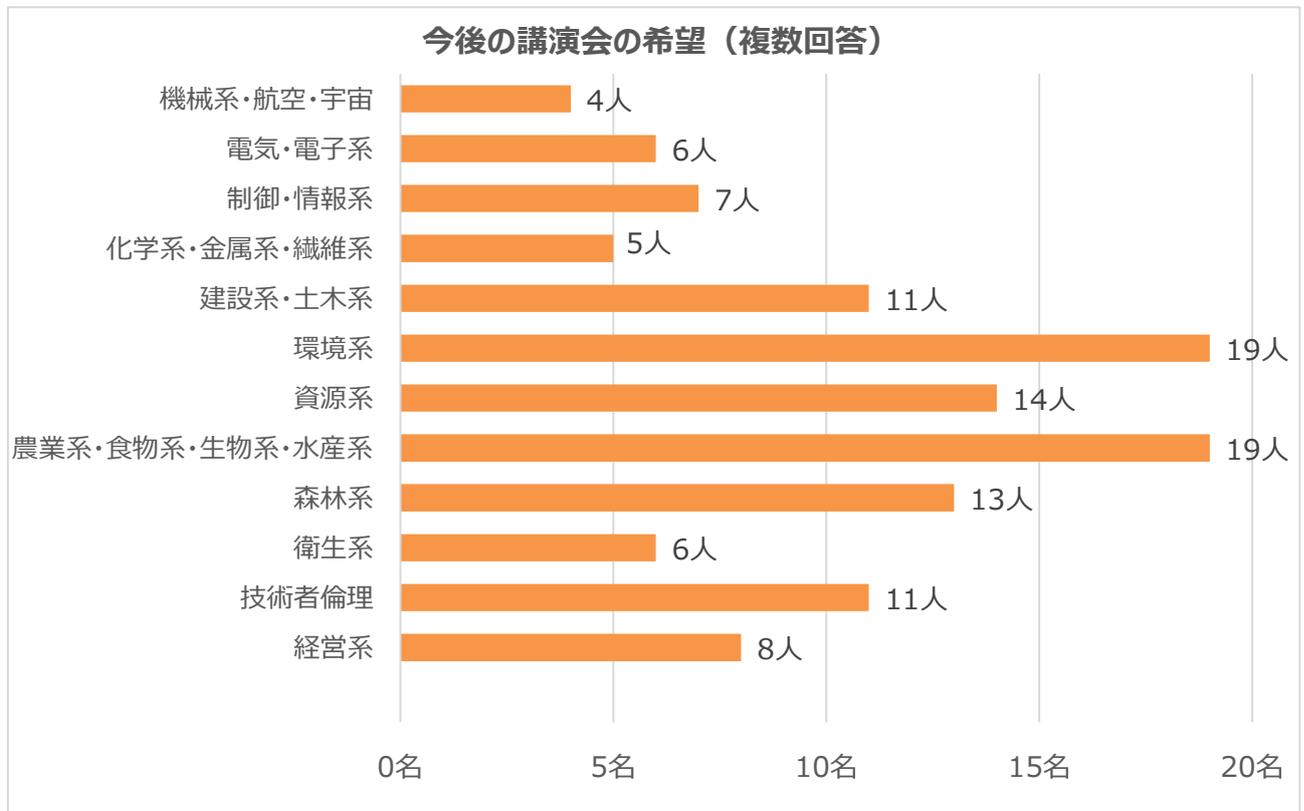
講演 2 「農薬の登録制度と生物農薬の開発」



Web 講演会について



今後の講演会の希望



別紙①-1 講演 1 「大学の紹介と環境に優しい農業害虫防除法」 コメント (20 件)

- 農林環境専門職大学の説明、天敵の説明ありがとうございます。
- 大変参考になりました。環境を考えた場合、最も理想的な対応方法だと思いました。
- 昆虫が光りを背に受けないと動けず、反射フィルムで腹部に反射光を当てるとそちらが太陽光の向きだと思いひっくり返って動けなくなる話は、3ヶ月前に防虫用のフィルムメーカーの展示を見たので同社にも共有したい。その他天敵の生存戦略行動の話や動画が非常に興味深かった。
- 講演会から、1日たったので、いただいた資料を基に内容を再確認してみます。画面越しに話を聞いているので、感想も思い浮かびません。申し訳ありません。
- 農林環境専門職大学の教科内容に興味を持ちました。(3件)
- 専門職大学の意義を始めて知る事ができました。人材育成は必須であり、また農業の経済性向上も必須です。陰ながらではありますが応援したくなりました。
- 国内外来種の問題もあり、今後は土着天敵を活用した保護的生物的防除が重要であると思った。しかし、そもそも農業害虫が大量発生するのは、大規模に単一の農作物を栽培するからではないかと考えると、間作や輪作だけでなく、適正な面積やモザイク状の栽培を行った方が環境に優しく、持続可能な農業ではないかと思った。
- 農業専門職大学の学生育成のねらい、またこれからの専門教育の方向性についてのお話はよくわかりました。
- 農林を目指す学生は貴重だと思います。卒業して担い手として活躍しそれなりの収入を得られる職業として認められるよう産官学の活動を期待します。
- 途上国の農業発展のために、グローバルな海外留学生の育成とAOI機構等と協力し、積極的に農業関連の開発をしていただけると嬉しいです。
- 農業部門も範囲が広く病害虫となると農学の一部でかなり専門的になり初めて聞く人には理解する時間が必要のように思われた。
- とても内容の濃い講演でした。
- 全国で初めての農業に関する専門職大学の概要がよくわかりました。農業の実業者を要請する大学の方針に感心しました。教養だけの農学でなく、将来の農業経営者を養成するカリキュラムが取られているのは素晴らしいと思いました。天敵を活用した害虫防除法は化学的防除に変る環境に優しい防除法だとおもいます。この学問の発展に期待します。
- 農林環境専門職大学は初めて知りました。入学者は高校卒の方が多いようですが、それ以外の方(社会人からの転籍等)もいらっしゃるのか聞きたかったです。
- 農業害虫防除法の一つとして昔から天敵が利用されてきましたが、天敵自身が農薬にすごく弱いため、天然成分で農薬の代用が出来れば天敵にも影響が少ないと感じました。
- 国内由来の外来種の問題もあり、今後は土着天敵を活用した保護的生物的防除が重要であると思いました。しかし、そもそも、農業害虫が大量に発生するのは、大規模に単一の農作物を栽培するからではないかと考えますところ、スライドにあった間作や輪作だけでなく、適正な面積やモザイク状の栽培を行った方が環境に優しく、持続可能な農業ではないかと思いました。いろいろ考える機会になり、勉強になりました。
- 最近の林業は木材の利活用までを扱っていたり、また日本の作物の品質は海外と比較して高品質であるが、従来からの大量生産農業国には及ばないことや、栽培方法がIoTなどの工業屋の視点の導入によって大きく進化する可能性があることなど、多くの内容を知ることができました。

- 大学の内容、害虫防除法とも、わかり易い内容だった。専門の農業土木の周辺分野の話で、業務を進めるうえでも参考になった。

別紙①-2 講演 2 「農薬の登録制度と生物農薬の開発」コメント (20 件)

- 農薬の必要性や安全性のお話もお聴きしたかったです。
- 知らない内容も多く、新たな知見を得る機会として有用でした。
- 農薬の残留と残効性の違い、あるいは同じ影響の有無について質疑応答で聞けば良かった。時間が押しており、講師も含め懇親会に移動するところであったので質問を止めたが、1 分でも話しておけば良かった。
- 講演会から、1 日たったので、いただいた資料を基に内容を再確認してみます。画面越しに話を聞いているので、感想も思い浮かびません。申し訳ありません。
- 生物農薬について興味を持ちました。(2 件)
- 内容は興味深いものが多く有りました。説明内容が事前の添付資料に網羅されていると良いと感じました。
- 農薬取締法の視点について、時代に依りて改正されてきたことに関心を持った。農薬は危険であると認識されているので、一層、安全・安心に向けて、リスク評価等を怠ってはいけないうらうと思った。その姿勢を参考にしたい。
- 今後も生物多様性を壊さない、環境破壊をできるだけ小さく抑えるための農薬の開発を期待します。
- 農薬(成分)は毒性によっては特定化学物質に指定されていると思います。法的にも取り扱う事業者が化学物質の具体的な管理が求められますが、そのことについての現状も聞きたかったです。
- 環境にやさしい生物農薬とエコホープ開発が更に進展することを期待します。
- 農業部門も専門的な分野ですが、なかなか自分では調べたり、勉強したりすることでない生活に関わるお話を聞けて良かった。
- 生物農薬が環境にも良いと感じました。
- とても内容の濃い講演でした。
- 現在の植物の防除法の中心は化学的防除法にたよっていますが、昔の毒性の強い農薬から現在は人間の健康と環境に対する負荷を抑えた低毒性農薬が中心になっています。現在はその上に生物的防除法(微生物農薬など)が加わって更に環境に優しい防除法の開発が進んでいることに感心しました。この防除法がさらに発展するのを期待したい。
- 生物農薬は初めて学びました。
- 農薬の登録制度では種類、対象物、効果に分けた分類がなされていますが、今ある分に関して分かっている内容であって、天然成分を複数配合すれば環境負荷が少ないタイプが出来ても不自然ではないと感じました。
- 農薬取締法の視点について、1948 年は生産向上、1971 年は環境保全、2002 年には食品安全、2018 年に使用者への影響評価、2020 年に農薬の再評価等、時代に依りて改正されてきたことに関心を持ちました。農薬は危険であるので、安全・安心に向けて、リスク評価等を怠ってはいけないうらうと思いました。
- 農薬の基本成分の数に比べて流通している農薬はその基本成分の組み合わせによって構成されるため数が多いことや、天敵や菌を活用した生物農薬、農薬の制度などについて、幅広く勉強になりました。
- 生物農薬という存在自体知らなかつたので、非常に有益な講義だった。ただ、配布資料になくパワーポイントに表示された事項に有益と感じる内容が多かつたため、配布資料とパワーポイントで内容に差がないととっても良かった。

別紙② その他・全体コメント（17件）

- ハイブリットでの講演会ご苦労さまです。
- 静岡駅から近いので県外参加者には良い場所である。開催日は視察や講師と名刺交換をしたい場合は土曜日が都合が良い。WEB参加の場合平日の18時～20時で実施してもらえるとが都合が良い。
- 今年は特に暑いためweb公演はありがたく思います。
- 今後もWeb講演を続けてください。（4件）
- ハイブリッド開催は大変な部分も有るかと思いますが、遠隔地から参加できるメリットは大きいです。今後も継続される事を期待します。（2件）
- 講演内容は興味ある内容でした。ありがとうございました。
- 土曜日に開催していただき、参加しやすく、ありがたいです。（2件）
- 懇親会の会費に対する領収書を出してもらいたい。以前は懇親会費の領収書ももらっていたのに、どうして出さないようにしたのか。
- 普段講演のテーマに上がらない農業を取り上げていただき極専門的でしたが自然環境や人の食に関わるテーマであり、少し理解できた。ありがとうございました。
- 現地視察は静岡県の偉人の業績を訪ね、それが現在どのように受け次がれているか（温故知新）を知る視察も有意義と考えます。
- 関西へ移動の途中で途中下車して今回静岡県支部の講演会に初めて参加させて頂きました。普段聞けない内容で学ばせて頂きました。機会があればまた参加させて頂きます。有難うございました。
- 空飛ぶクルマは災害支援とか土地の有効活用に役立つ事例を多くすれば一つの市場が出来上がります。人類の未来のためにも空飛ぶクルマの活用事例をご説明頂き、指摘いただいた改善点が本当にクリヤーできる内容かを議論したいです。開催日時には拘りませんが、開催方式はWEBでお願いします。

たくさんのご貴重なご意見ご要望を寄せていただきました。

本項で頂いた貴重なご意見、ご要望は今後の例会運営の参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

以上